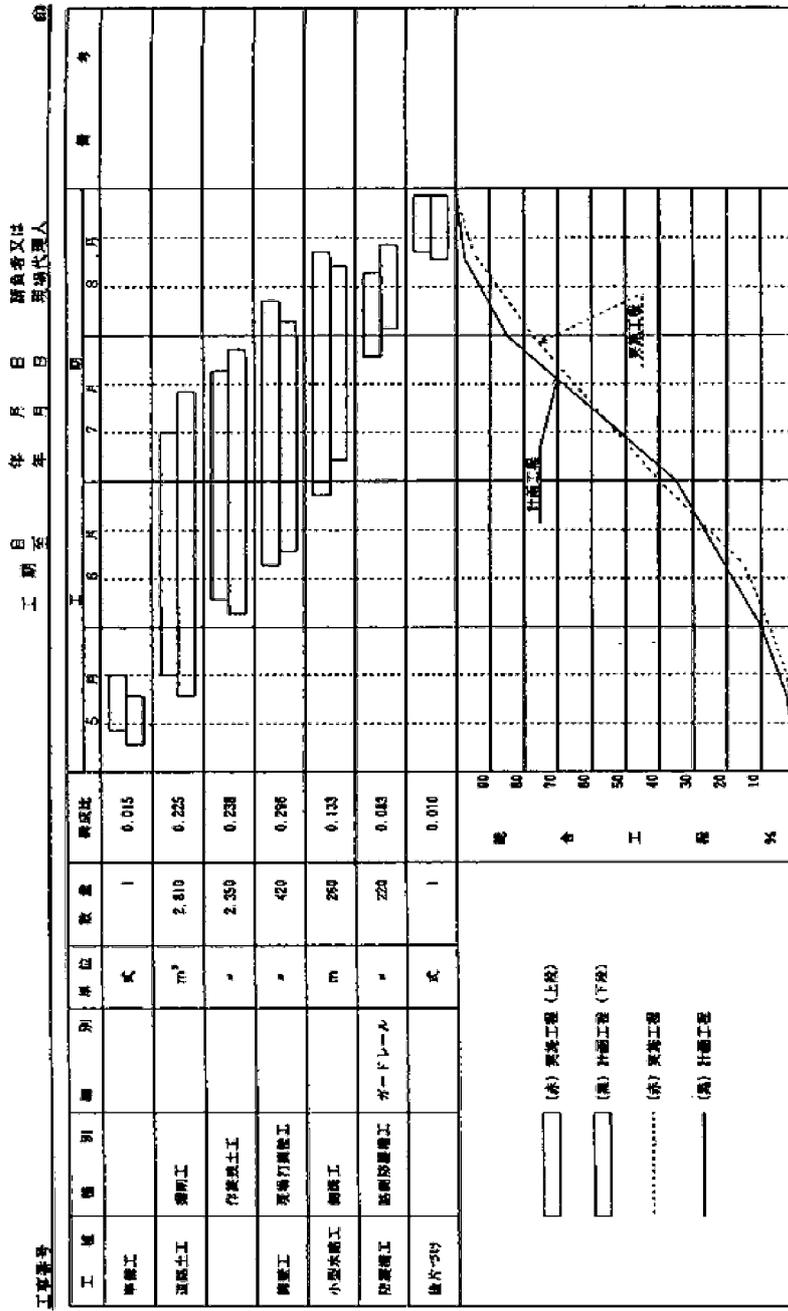
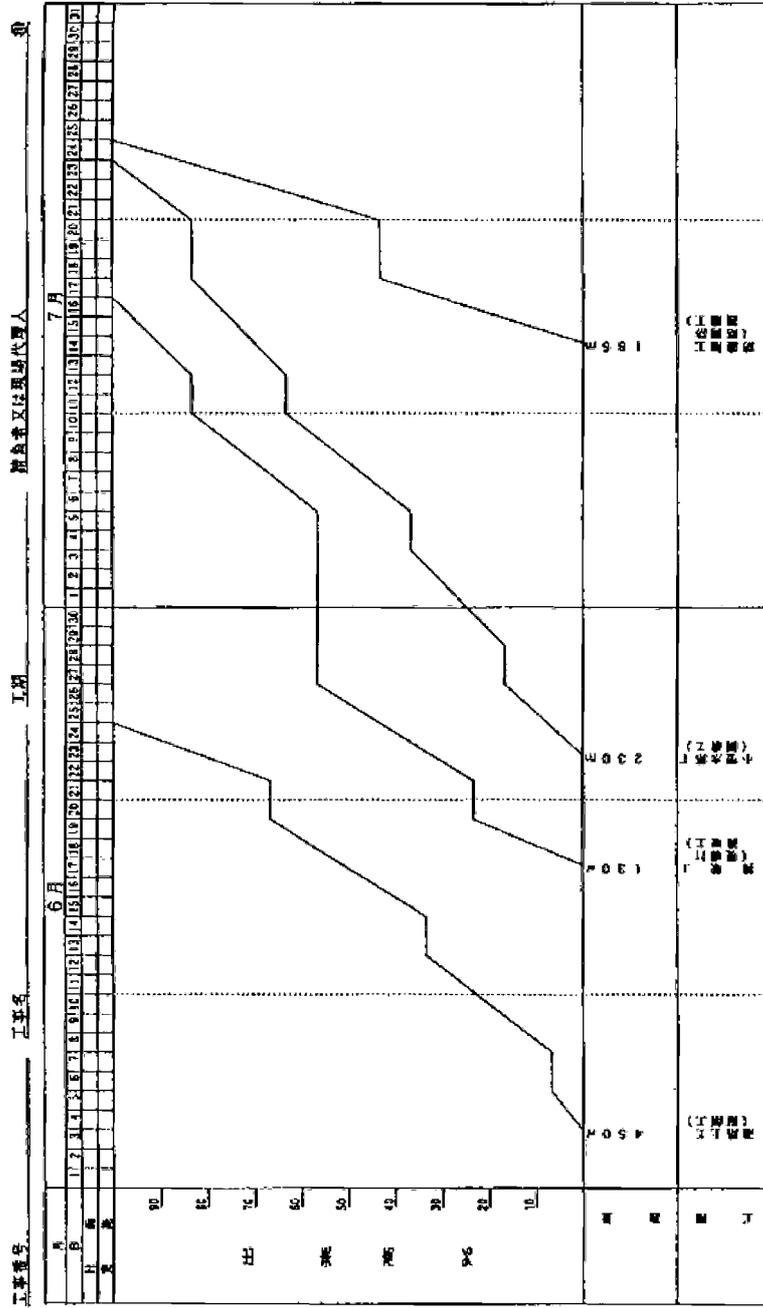


パーチャート工程表(例)



工程管理图 (例)



測定結果総括表

工種 _____ 現場代理人又は主任技術者 _____ 印
 種別 _____ 測定者 _____ 印

測定項目	規格値	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値										
最大値										
最小値										
最多値										
片一方数										
標準偏差										

測定項目	規格値	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値										
最大値										
最小値										
最多値										
片一方数										
標準偏差										

測定項目	規格値	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
平均値										
最大値										
最小値										
最多値										
片一方数										
標準偏差										

出来形管理図 (工程能力図)

工 種		現場代理人又は主任技術者		印
種 別		測定者		印
測定項目 規格値	測 点	1	2	
基準高 H	設計値との差	0		
法 長 L	設計値との差	0		
延 長 L	設計値との差	0		

度数表

	現場代理人又は主任技術者	印
基準高 H	測定者	印

回数 ↑

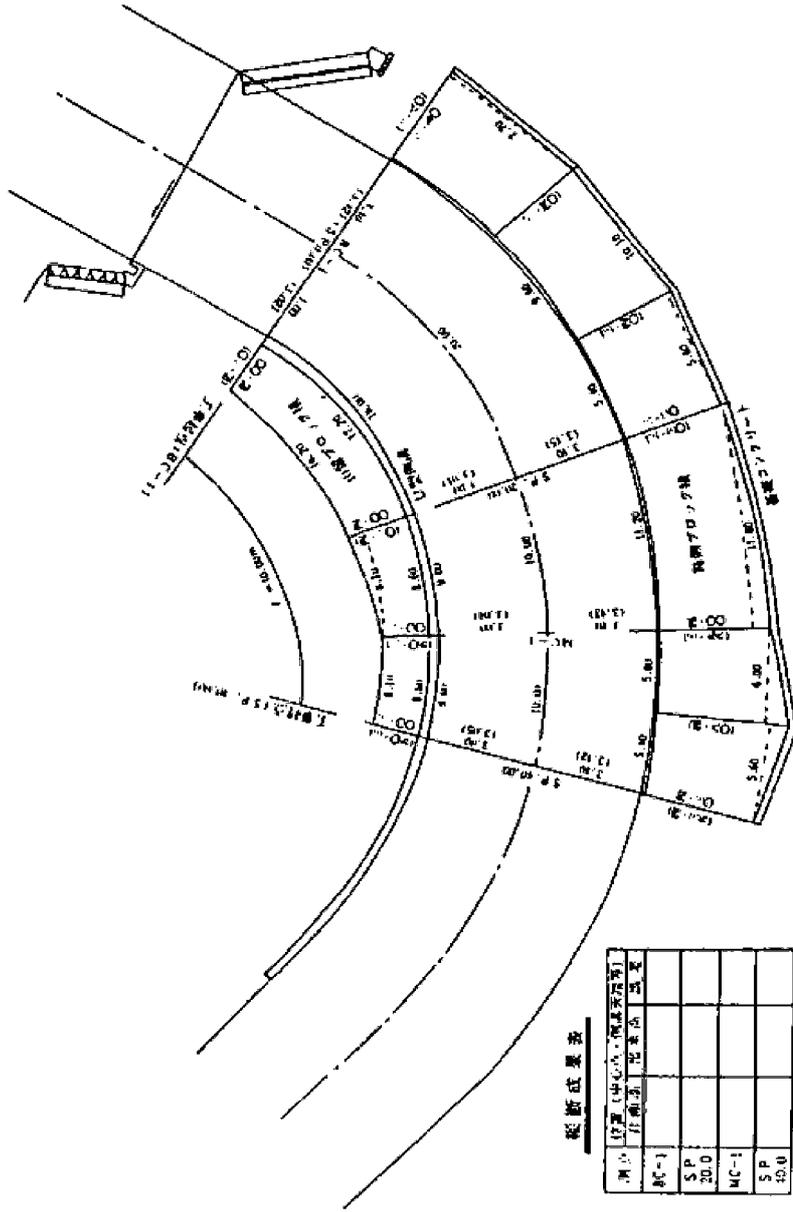
設計値との差 → (+)

(-) ←

出来形展開図(例)

製作者又は
現場代理人

参考様式-9



レディーミクストコンクリートの使用届

工事名 _____

工事番号 _____

請負者又は現場代理人 _____ 印

生コンクリート工場名	JIS工場			有	無
品質管理主任名	コンクリート主任技士 コンクリート技士				
コンクリート量	$\sigma_{ck} =$	N/mm^2 、 $\sigma_{ck} =$	N/mm^2	$\sigma_{ck} =$	N/mm^2
	$\sigma_{ck} =$	N/mm^2 、 $\sigma_{ck} =$	N/mm^2	$\sigma_{ck} =$	N/mm^2
スランブ試験	回 打設日	空気量測定	回 打設日		
圧縮強度試験	回 本	試験機関			
曲げ強度試験	回 本	試験機関			
※監督員 の業務	現場試験を 立会するか	全部する	随時する	殆どしない	
※指 示 事項					

注) ※印は、監督員が記入し、該当箇所に○印を付ける。

コンクリート打設日報					
平成 年 月 日			印		
工事番号	第 号	路線名等 河川	T. 事 名		
工事箇所	町 地内				
配 合 表					
単 位 量	セメント	水	細骨材	粗骨材	混和材 (剤)
	kg/m ³				
設 計 基 準 強 度	打設位置図				
粗 骨 材 最 大 寸 法	N/mm ²				
水セメント比	mm				
荷卸地点スランプ	%				
打 設 量	cm				
	cm				
	m ³				

\bar{X} - R 管理データシート

名称		工事名				期間		自			
品質・特性		発注者・監督員				至					
測定単位		日標準量				請負者又は		現場代理人			
規格	上限値	試料		大きさ		測定者		印			
限界	下限値	間隔									
設計基準値		作業機械名						印			
月日	試験番号	測定値				計	平均値	範囲			
		X1	X2	X3	X4	Σ	\bar{X}	R			
	1										
	2										
	3							\bar{X}	R		
	4							平均			
	5							累計			
	小計							小計			
	6							\bar{X}	R		
	7							平均			
	8							累計			
	小計							小計			
	9										
	10										
	11							\bar{X}	R		
	12							平均			
	13							累計			
	小計							小計			
	14										
	15										
	16										
	17							\bar{X}	R		
	18							平均			
	19							累計			
	20							小計			
	小計										
記事								n	d2	A2	D4
								2	1.128	1.880	3.267
								3	1.693	1.023	2.575
								4	2.059	0.729	2.382
								5	2.326	0.577	2.115

- (注) 1. 品質特性、測定単位は共通仕様書の品質管理図適用表により記入する。
 2. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
 3. 管理限界線の引直しは5+5+10+20+20方式による。

(備考) -----管理限界計算のためのデータの区間を示す。

-----上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 21組~40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとと同様とする。

X - R 管理図

設計基準 品質特性 測定方法 作業機械	値 称 性 位 法 名	工日 規格 試	標準 上下 大間	名 置 限 値 さ 隔	発注者・監督員		期 間 至	請 負 現 測	者 代 定	は 文 理 者	印	印
					期	間						
X												
Rs												
Rm												
組の番号 記												

X-Rs-Rm管理データシート

名称		工事名				期間		自		至		
品質特性		発注者 監督員				請負者又は		現場代理人		印		
測定単位		日標準量				測定者				印		
規格 限界	上限値	試料				大きさ						
	下限値	間隔										
設計基準値		作業機械名										
月日	試験 番号	測定値				計	平均値	移動範囲	測定値内 の範囲			
		a	b	c	d					Σ	X	Rs
	1											
	2											
	3									X	Rs	Rm
	4								平均			
	5								累計			
	小計								小計			
	6									X	Rs	Rm
	7								平均			
	8								累計			
	小計								小計			
	9											
	10									X	Rs	Rm
	11											
	12								平均			
	13								累計			
	小計								小計			
	14											
	15											
	16											
	17											
	18									X	Rs	Rm
	19								平均			
	20								累計			
	小計								小計			
記事									n	d1	D4	E2
									2	1.13	3.27	2.66
									3	1.69	2.57	1.77
									4	2.06	2.28	1.46
									5	2.33	2.11	1.29

- (注) 1. 品質特性、測定単位は共通仕様書の品質管理図適用表により記入する。
 2. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
 3. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。

(備考) ----- 管理限界計算のための予備データの区間を示す。
 ----- 上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 以下最近の20個(平均値Xを1個とする)のデータを用い次の10個に対する管理限界とする。

X-Rs-Rm管理図

設計基準 名	値 称	工 日	標準 量	発注者・監督員 名	期 間	至	は	印
品 種	特 性	日 数	量 数	名	期 間	至	は	印
測定 方法	単位	規格 限界	上 限	請 負	者 代	理 者	は	印
作業 機械	名	試 料	間 隔	測 定	者	は	印	印
X								
Rs								
Rm								
組の番号 記								

塗 装 膜 厚 測 定 管 理 表

現場代理人又は主任技術者

印

工事名		工種名		現場代理人							
				監理技術者							
ロット番号		請負者		主任技術者							
				施工管理担当者							
塗装系	基準膜厚合計値				μ						
測定時点	○ 工事塗装終了後		○ 現場塗装開始前		○ 現場塗装終了後						
測定月日					測定者						
測定位置					印						
	1	2	3	4	5	計	平均 \bar{X}_i	$\bar{X}-\bar{x}_i$	$(X-x_i)^2$	—	
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
	21										
	22										
	23										
	24										
	25										
合計	平均値 $\bar{X} =$							標準偏差 $S =$			

平均値 $\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i$	
標準偏差 $S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X}-X_i)^2}$	

塗 装 膜 厚 測 定 成 績 表

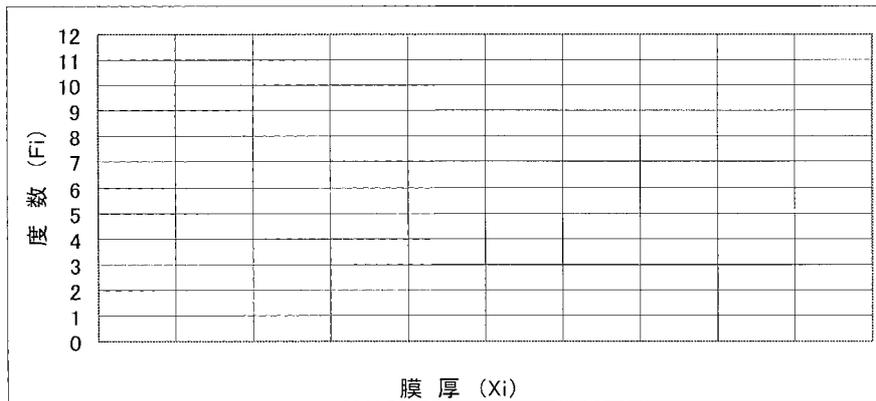
現場代理人又は主任技術者 印

ロット番号	現場代理人	
	監理技術者	
	主任技術者	
	施工管理担当者	
測定時点		目標塗装膜厚 μ m

平均値Xおよび標準偏差S $\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i =$ $S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X} - X_i)^2} =$	判定 標準偏差S= 標準偏差×0.2= 平均値 \bar{X} = 標準偏差×0.9= 5点平均値の最小値 = 標準偏差×0.7=
--	---

度数分布			
膜厚Xiのクラス	中央値	チェック	度数Fi

ヒストグラム



コンクリート中の塩分測定表

工事名 _____	現場代理人又は主任技術者
現場代理人又は主任技術者 _____ 印	

測定者名			測定番号	測定値	塩化物量
立会者名					
測定年月日		時刻		%	kg/m ³
工種			1		
コンクリートの種類			2		
コンクリートの製造会社名			3		
混和剤の種類		m ³ 当たり 使用量	計		
セメントの種類			平均値		
単位水量			kg/m ³	許容	kg/m ³
測定器名			塩化物量		(Cl重量)
備考	[測定結果に対する措置を講じた事項等を記入すること]				

(注) 塩分濃度を (%) で測定した場合は、次式で塩分量を求めること。
 塩分量 (kg/m³) = (単位水量 (kg/m³) × 測定値) ÷ 100

平成 年 月 日

品質証明書

工事名： _____

品質証明事項		実施日		箇所		品質証明員氏名 印		記事	

社内検査した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

請負者 住 所
氏 名

印

参考様式-21-1 (第1編1-1-12)

平成 年 月 日

施 工 体 制 台 帳

[会 社 名] _____
 [事 業 所 名] _____

建設業の 許 可	許可業種	許可番号		許可(更新)年月日	
	工事業	大臣 特定 知事 一般	第 号	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般	第 号	平成 年 月 日	平成 年 月 日

工事名称 及び 工事内容					
発注者名 及び 住 所	〒				
工 期	自 平成 年 月 日	至 平成 年 月 日	契約日	平成 年 月 日	

契 約 営 業 所	区分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

発注者の 監督員名		権限及び意見 申出方法	
--------------	--	----------------	--

監督員名		権限及び意見 申出方法	
現 場 代理人名		権限及び意見 申出方法	
監 理 技術者名	専 任 非専任	資 格 内 容	
専 門 技術者名		専 門 技術者名	
資 格 内 容		資 格 内 容	
担 当 工事内容		担 当 工事内容	

- (記入要領) 1 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
 2 監理技術者の配置状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
 3 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)

参考様式-2 1-2 (第1編 1-1-1 2)

<<下請負人に関する事項>>

会社名					代表者名		
住所 電話番号	〒 (TEL - -)						
工事名称 及び 工事内容							
工期	自平成 年 月 日	契約日	平成 年 月 日	請負代金額			
	至平成 年 月 日						

建設業 の許可	許可業種		許可番号		許可(更新)年月日	
	工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日		
		知事 一般	第 号	平成 年 月 日		
工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日			
		知事 一般	第 号	平成 年 月 日		

現場代理人名	
権限及び 意見申出方法	
※主任技術者名	専任 非専任
資格内容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
※専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

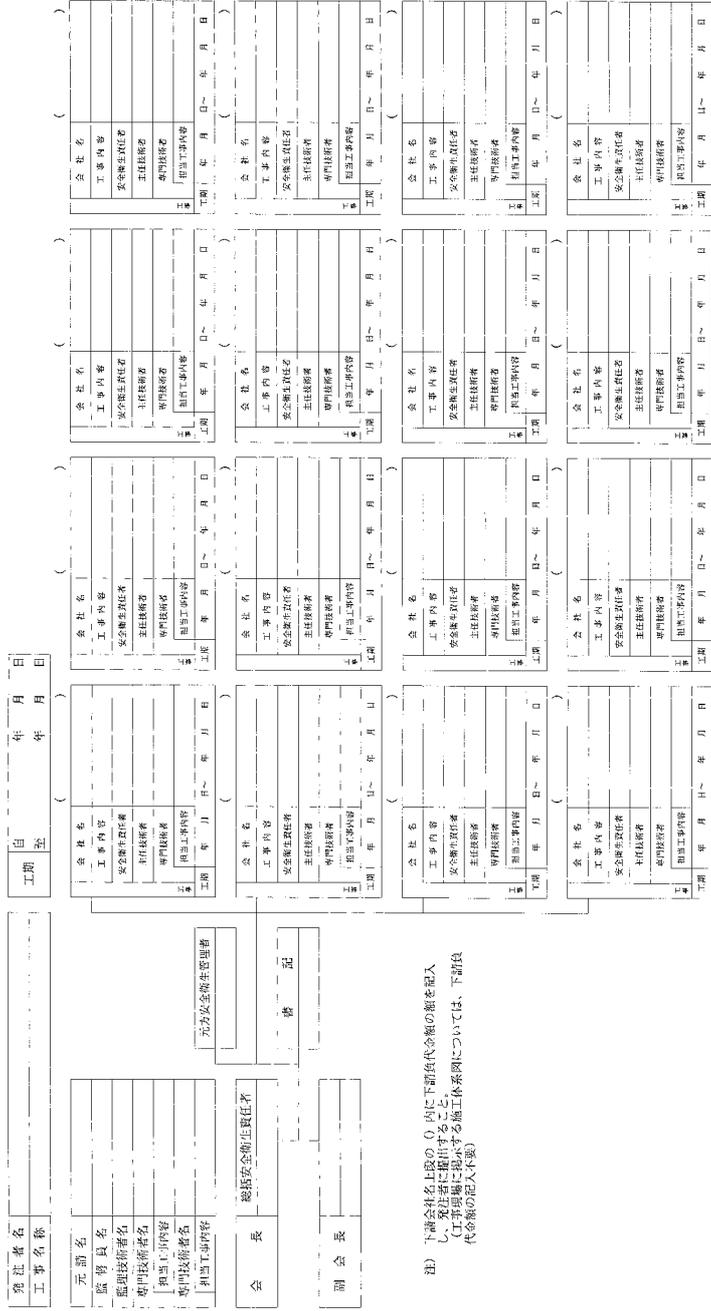
※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 1 主任技術者の配置状況について[専任・非専任]のいずれかに○印を付すること。
- 2 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工の場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。) 複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。

3 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入する)

- (1) 経年数による場合
 - 1) 大学卒[指定学科] 3年以上の実務経験
 - 2) 高校卒[指定学科] 5年以上の実務経験
 - 3) その他 10年以上の実務経験
- (2) 資格等による場合
 - 1) 建設業法「技術検定」
 - 2) 建設業法「建築士試験」
 - 3) 技術士法「技術士試験」
 - 4) 電気工事士法「電気工事士試験」
 - 5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
 - 6) 消防法「消防設備士試験」
 - 7) 職業能力開発促進法「技能検定」

施工体系図



注) 下請会社名上段の()内に下請会社名を記載し、発注者に提出すること。
 ()は発注者に提出する施工体系図については、下請負(代表者の記入不要)

参考様式-23(第1編1-1-19)

平成 年 月 日

様

請負者又は
現場代理人

印

現場発生品調書

平成18年 7月 1日 契約の (二)〇〇川 河川改修工事 における下記の発生品を引き渡します。

記

品名	規格	単位	数量	摘要
連節ブロック	凸型 60*30*15	個	52	

確認・立会願

現場代理人又は主任技術者

印

<u>確認・立会事項</u>		
工事名	(二) ○○川 河川改修工事	平成 年 月 日
下記の 確認・立会 を願いたい		
記		
工 種	護岸工 捨石張り工	
場 所	松山市○○町××大字△△	
資 料		
希望日時	月 日	時
確認立会員		
実施日時	月 日	時
記 事		

段 階 確 認 書				
施 工 予 定 表				
平成 年 月 日				
共通仕様書 に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告いたします。				
工事名 (二) ○○川 河川改修工事			請負者又は 現場代理人： 印	
種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事
場所打杭工	ホルダーソング杭	掘削完了	平成18年 7月 1日～ 平成18年 7月20日	
指定仮設工		設置完了	平成18年 7月15日～ 平成18年 7月25日	
平成 年 月 日				
通 知 書				
下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知する。 監督員： _____				
確 認 種 別	確 認 細 別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等
場所打杭工	ホルダーソング杭	掘削完了	平成18年 7月25日	
指定仮設工		設置完了	平成18年 7月25日	
平成 年 月 日				
確 認 書				
上記種別について、段階確認を実施し確認した。 監督員： _____ 印				

参考様式-27 (第1編1-1-28)

工 事 履 行 報 告 書

工事名	(二) ○○川 河川改修工事		
工 期	平成18年 6月 1日 ~ 平成18年12月15日		
日 付	平成18年 9月 5日 (3 月分)		
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	備 考
6月	5.00	5.00	
7月	20.00	25.00	
8月	(40.00) 45.00	38.00	
(記事欄)			

現場代理人又は主任技術者 印

参考様式-28-2 (第1編1-1-30)

安全訓練に関する実施報告書

事務所名	路線河川名
工事名	契約工期
施工箇所	
工事概要	
請負工事費	氏名 円 請負業者 印
安全訓練の内容 (具体的な内容)	
出席者 氏名 (本人による署名)	

(注意事項) 上記報告書とともに、諸規定・法令の関係項目の作業員全員への研修プログラム、研修資料の写し、実施状況写真等を、共通仕様書で定める他の資料とともに添付すること。

参考様式-29 (第1編1-1-33)

平成 年 月 日

様

住 所

氏 名

工 事 事 故 報 告 書

事故等の発生日時		
工 事 概 要	工 事 名	
	施 工 場 所	
	請 負 業 者 名	元請業者 下請業者
	請 負 金 額	
	工 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
負傷者の氏名・年齢		
負 傷 の 程 度		
事故当日の作業内容と 事故発生状況		

※事故の内容がわかる図面等を添付

参考様式-30 (第1編1-1-37)

交通整理員勤務実績表

1 事務所名		2 監督職員		(3) 共通仮設費 対象額 円	
4 工事種別		※(5) 工事名			
※(6) 路線河川名		※(7) 施工箇所			
8 工事概要					
※(9) 工事日数	口	※(10) 契約工期			
※(11) 請負工事費	円	※(12) 請負業者	氏名	印	
※(13) 交通整理員実績表					
月 日	勤務時間	配置人員	交替要員	延勤務時間	備 考
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	

(注意事項) 請負業者は上記調査表のうち、(※)のある箇所について記入し、氏名捺印のうえ、実施状況写真と併せて監督員に提出すること。

産 地 証 明 書

平成 年 月 日

1. 樹 種
2. 施 業 分 類
3. 産 地
4. 品 名 ・ 規 格
及び納品数量
5. 工 事 番 号
及び工事名
6. 工 事 場 所

請負業者 御中

上記のとおり証明いたします。

出荷元住所
名 称

(印)

参考様式-33 (第5編3-10-3)

現 場 安 全 日 誌			
年 月 日	平成 年 月 日	天候	
点 検 者 氏 名			
始 業 前 点 検 時 間			
終 了 後 点 検 時 間			
作 業 位 置			
作 業 内 容			
点 検 事 項	状 況		
1 亀 裂			
2 崩 壊			
3 落 石			
4 湧 水			
5 地 下 水 位			
6 構 造 物 の 変 動			
7 そ の 他			
備 考			

工 事 打 合 簿

発 議 者	■請負者	発議年月日	平成 年 月 日
発議事項	<input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他()		
工 事 名 (内 容)	(二) ○○川 河川改修工事		
<p>共通仕様書第1編 1-1-5の規定に基づき施工計画書を提出します。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>			
添付図 葉、その他添付図書			
処 理 ・ 回 答	発 注 者	上記について <input type="checkbox"/> 指示・ <input type="checkbox"/> 承諾・ <input type="checkbox"/> 協議・ <input type="checkbox"/> 通知・ <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	請 負 者	平成 年 月 日	

請負者又は現場代理人 印